

がん治療が心血管に与える影響に関する心臓 CT を用いた検討

1. 研究の対象

2014 年 4 月～2019 年 3 月に当院で心臓 CT を受けられた方。

2. 研究目的・方法

がん治療が進歩している一方、がん治療に伴う心毒性が注目されています。さらに、化学療法や放射線治療に伴い冠動脈疾患のリスクが高まることが知られています。しかしながら、それらのがん治療が冠動脈に与える影響を検出する方法は確立していません。そこで、本研究では、心臓 CT を用いてがん治療が冠動脈に与える影響を検討することを目的としています。

心臓 CT 画像より冠動脈狭窄、冠動脈石灰化、心外膜脂肪組織などのデータを抽出し、既存の冠動脈危険因子に加え、がんやがん治療がそれらに与える影響などを調べます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、カルテ番号、心臓 MDCT 画像 等

試料：使用しません

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科 安居 琢

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科 藤田 雅史

-----以上